

研究主題 未来へつなぐ心豊かなたくましい幼児の育成 ～主体的な遊びや生活を通して～

I 団体の概要

本会は昭和21年、東京都保育会として活動を開始し、今年度創立80周年を迎えた。戦前、戦中、戦後と激動の時代に、日本の将来を担う子供たちのため、よりよい保育を目指して共に学ぼうと発足し、今日まで歩み続けている研究会である。社会の変化と共に変わりゆく課題に対応し、東京都における幼児教育を推進する役割を担っている。会員は東京都公立幼稚園・こども園の教員で、令和7年度は144園812名である。令和8年度には創立80周年記念式典を挙行予定である。

II 研究主題について

近年、幼児を取り巻く社会は急速に変化し続けており、複雑で予測困難となっている。幼稚園・こども園においては、全ての幼児に格差なく質の高い幼児教育を保障し、幼児一人一人のよさや可能性を伸ばしながら、心豊かでたくましい幼児を育成することがより一層大切になっている。

次期学習指導要領(次期幼稚園教育要領)に向けた基本的な考え方では、「主体的・対話的で深い学び」の実装により、資質・能力の一層の具現化・深化を図ることが挙げられている。幼稚園・こども園で育みたい資質・能力は、主体的な遊びや生活を通して育まれるものであり、そのために教師は、幼児の主体性を引き出す環境の構成や指導方法、具体的な教材、幼児の育ちにつながる評価のあり方について学び、自身の感性を磨き、指導力を向上させることが必要である。また、公立幼稚園・こども園の役割として、地域の幼児教育の拠点園として、幼稚園教育要領の趣旨やこれに基づく実践を浸透させ、地域の幼児教育の質の向上に努めることも重要である。そこで、今年度も「未来へつなぐ心豊かなたくましい幼児の育成～主体的な遊びや生活を通して～」を研究主題とし、研究を進めることとした。

III 研究概要

【総会・講演会】

令和7年4月16日(水) 会場 江東区文化センター
「歌舞伎の魅力 時代とともに歩むエンターテインメント」
松竹株式会社 経営企画部
エグゼクティブフェロー 岡崎 哲也 氏

【実技研修会】

令和7年6月4日(水) 会場 荒川区立尾久第六小学校
「元気モリモリ 森麻美の運動あそび」
たいそうインストラクター
運動会コーディネーター 森 麻美 氏

【夏季研修会】令和7年8月19日(火)

- Zoomによるオンライン研修
- 第1部会「子どもと共に創り上げる保育」
～「ずれ」に気づき「ずれ」を楽しむことをきっかけとして～
お茶の水女子大学アカデミックプロダクション寄附講座
教授 宮里 暁美 氏
- 第2部会「保護者とともに進めるインクルーシブ教育」
～共生社会の実現に向けて～
明星大学教育学部教育学科 教授 星山 麻木 氏
- 研修を受けた内容を踏まえ、各園で実践した内容を幹事がまとめ、研究報告書に掲載

【講演会】令和7年9月10日(水) 会場 荒川区立汐入小学校
「園庭で守る生物多様性」～簡単ビオトープのすすめ～
プロナチュラリスト 佐々木 洋 氏

【研究発表会】令和8年2月18日（水） 会場 江東区文化センター

○研究奨励園発表

- ・「探究の扉を開く」 ～自ら遊び、遊びを紡ぐ～
千代田区立番町幼稚園
- ・「遊びたい！続けたい！またやりたい！」
～思わず体を動かしたくなる環境と教師の援助～
墨田区立緑幼稚園

○講演 演題 未定

文部科学省初等中等教育局幼児教育課幼児教育調査官
(兼) 幼児教育課教科調査官 平手 咲子 氏

IV 研究・研修内容（一部抜粋）

【実技研修会】

幼児の健康な体づくりを目指した6通りの動き（前・後ろ・左・右・上・下に向かう動き）や不足しがちな動き（低い姿勢、押す、引くなど）を取り入れた運動遊びを教えていただいた。それぞれの運動遊びの意味や幼児が意欲的に遊べるようにするための工夫など、明日からの実践に活かせる充実した研修会となった。

○6通りの動きができるリズム『モリモリマッチョ！！』

マッチョのポーズで音楽に合わせて上下左右に体を動かす。慣れてきたら前後に動きながら行う。

- ・この曲では、前後左右上下の「6通りの動き」が含まれており、『多様な動き＝全身をまんべんなく動かすこと』ができる。
- ・人は立って動くようになると低い動きが不足するので意図的に6通りの動きを取り入れるとよい。その際、教師が考えるだけでなく、幼児に問いかけることが大切である。その答えから新たな問いが生まれ、つながっていくことで学びが深まっていく。

○二人組での相撲遊び『ド・ス・コ・イ』

二人組で座り、手のひらや背中、足の裏などを押し合う。四つん這いになって横から押ししても楽しい。『ド・ス・コ・イ』の曲に合わせて、繰り返しのリズムの合間に、体の様々な部位を使って相撲を行う。

- ・相撲遊びの注意点を幼児に問い掛け、安全な動き方を一緒に考えることで、意欲が引き出される。
- ・幼児の「やってみたい」という気持ちを引き出すためには、簡単な動きから始めるとよい。「できた」という思いが「もっとやりたい！」という意欲につながる。
- ・健康な骨作りには日光とビタミンD、そしてジャンプによる振動が重要である。それは高いところから飛び降りるような負荷のかかる動きではなく、自重を使い平らな床の上で軽くジャンプする動きで十分である。

V 研究の成果と課題

総会をはじめ実技研修会、講演会など多くの会員同士が顔を合わせて学び合い、実りある研修となった。また、夏季研修会は、誰もが参加しやすいようにオンラインで実施し、園の同僚と教材研究や幼児理解について共に学び合い実践につなげられるようにした。今後もこれまでの伝統を大切にしながら、各区市の会員同士が更に結束して、未来ある子供たちの豊かな育ちのために、共に学び、研鑽を積み重ね、事業の充実・発展に努めていく。

＜令和7年度連絡先＞

団体名		東京都公立幼稚園・こども園教育研究会	
代表者	所属	荒川区立南千住第二幼稚園	
	職 氏名	園長 立石 晃子	
	連絡先	03-3891-5701	
事務局	所属	荒川区立南千住第二幼稚園	
	職 氏名	園長 立石 晃子	
	連絡先	03-3891-5701	
団体ホームページ	URL		二次元コード